全体	№4
個別	002-01

平成２５年度［観光物産推進本部］　組織目標

課　名	本　　部

No.	総合計画の区分	施策の大綱	固有の歴史文化を発信し、交流の活発な人とまち
		施　　策	独自の地域資源を活かした交流人口の拡大
	項　　目	魅力ある観光情報システムづくりを目指します。	
	内　　容	昨年度、対馬の観光ガイドブックの日本語版をリニューアルし、文字も見やすいようにとＡ４サイズで作成しました。本年度は増大している韓国人観光客向けに韓国語版を作成していきます。また、既存の対馬ＰＲポスターを対馬の観光資源を活用し、よりインパクトのあるものを作成していきます。 その他、昨年度作成したスマートフォンで利用する韓国語観光アプリケーションを活用し、日本語・英語版のアプリケーション作成も同時に行い、より一層の情報システムの構築を目指します。 また、主に外国人観光客の満足度向上・消費拡大を図るため公衆無線ＬＡＮサービス環境整備（Ｗｉ－Ｆｉ）をおこないます。	
	指　　標 （数値目標）	【今年度】 ・魅力ある観光ガイドブック（韓国語版）の作成　　２０，０００部 ・日本人及び英語圏観光客に向けた対馬の観光地案内や、買い物飲食店情報などを発信し、消費を拡大するためのアプリケーションを制作します。 ・公衆無線ＬＡＮサービス環境整備（Ｗｉ－Ｆｉ）をおこない外国人観光客の満足度向上および消費拡大を図ります。 【達成年度】 ・同　　上	
	達成時期	平成２６年　３月	

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
観光ガイドブック作成（韓国語版）			→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
対馬ＰＲポスター作成	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
観光アプリケーション制作（日本語・英語版）			→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
島内Ｗｉ－Ｆｉ環境整備				→	→	→	→	→				

全体	№5
個別	002-02

平成２５年度［観光物産推進本部］　組織目標

課　名	本　　部

No.	総合計画の区分	施策の大綱	固有の歴史文化を発信し、交流の活発な人とまち
		施　　策	韓国をはじめとする東アジア都市との国際交流の促進
	項　　目	国際交流イベントをはじめとした、交流人口の拡大	
	内　　容	①仏像問題で影響が心配されますが、対馬３大イベントをはじめとする国際交流イベントをバランスよく開催支援し、国内外へ対馬をアピールし交流人口の拡大を図ります。 ②通年による国際交流事業の支援活動を実施し、韓国人観光客の増加を図ります。	
	指　　標 （数値目標）	【今年度】 ・国境マラソンＩＮ対馬　参加者数　１，２００人 ・厳原港まつり　観客数　３０，０００人 ・対馬ちんぐ音楽祭　観客数　６００人 ・韓国人観光客数　１５０，０００人 【達成年度】 ・同　上	
	達成時期	平成２６年　３月	

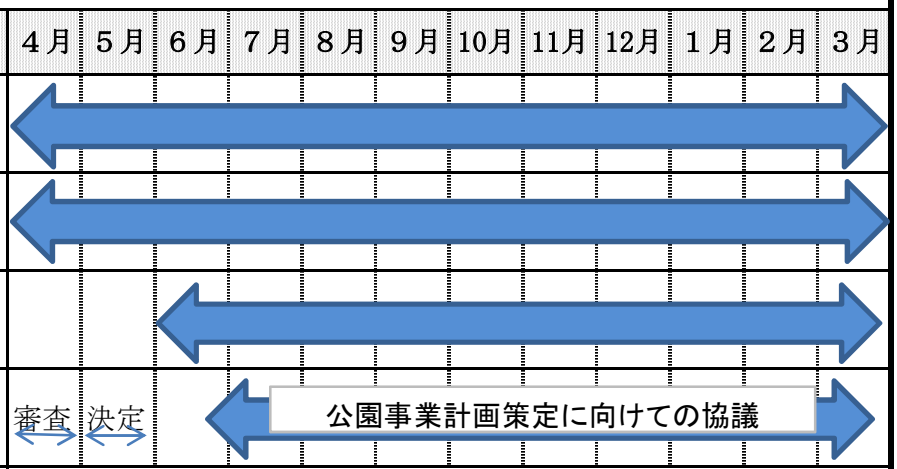
スケジュール	取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
	国境マラソンＩＮ対馬				●								
	厳原港まつり対馬アリラン祭					●							
	対馬ちんぐ音楽祭								●				
	国際交流事業支援	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔

全体	№6
個別	002-03

平成２５年度［観光物産推進本部］　組織目標

課　名	本　　部

No.	総合計画の区分	施策の大綱	創造的な産業と次世代の担い手を育む人とまち
		施　　策	Ｕ・Ｉターン等定住化対策の促進
	項　　目	重点誘致対象分野を絞った企業誘致	
	内　　容	地域経済の活性化や若者の島内定住、雇用創出などを促進するため、対馬の自然（海、山、里）が生み出す資源、素材を活用した「農林水産業関連の企業」をはじめ、「情報通信関連企業」「旅館業等観光関連産業」を重点対象分野としています。その中でも昨年度に引き続き、韓国からの観光客急増に伴い、宿泊施設に対する緊急的な対応として、宿泊施設の誘致に取り組みます。 長期的な取り組みとしては、昨年度から募集している「三宇田地区宿泊事業者募集」を継続し、北部対馬の振興につながるホテル誘致を目指します。また、公園事業計画策定に向けて長崎県との協議を継続します。	
	指　　標 （数値目標）	【今年度】 ・観光客の急増に伴う航路事業者、ＡＧＴ等から宿泊施設増強の要望に対応するため、地元関係事業者との調整、旅行者の実態調査、韓国旅行社、国内旅行者意向調査など行い、緊急的又は長期的な宿泊施設の整備・誘致に取ります。 ・緊急的取り組みとして、未利用施設の活用、キャンプ場等の営業期間の延長、ＡＧＴと宿泊施設を結ぶ予約窓口の開設等宿泊施設の機能強化を図るとともに、簡易宿泊施設の誘致に取り組みます。 〔指標数値〕 三宇田地区宿泊事業者候補企業に１社を設定し交渉を開始します。 【達成年度】 ・同　　上	
	達成時期	平成２６年　３月	



全体	№7
個別	002-04

平成２５年度［観光物産推進本部］　組織目標

課　名	本　　部

No.	総合計画の区分	施策の大綱	固有の歴史文化を発信し、交流の活発な人とまち
		施　　策	独自の地域資源を活かした交流人口の拡大
	項　　目	しまとく通貨のＰＲ及び加盟店への勧誘	
	内　　容	長崎県内のしま市町で共通に利用できる２０％のプレミアム付商品券。島外からの観光客・ビジネス客を対象に市町の加盟店（対馬島内約１６０店舗）で利用出来る「しまとく通貨」を販売し、離島での消費拡大を図ります。	
	指　　標（数値目標）	【今年度】 ◎しまとく通貨のＰＲ 広報市（帰省客・新成人向け）　７月号、１１月号 フェイスブックや各種イベントでのＰＲ ◎加盟店勧誘　５店舗増 【達成年度】 ・同　　上	
	達成時期	平成２６年　３月	

スケジュール	取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
	広報誌				○				○				
	フェイスブック・各種イベント	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	加盟店勧誘			○					○				

全体	No.8
個別	002-05

平成２５年度［　観光物産推進本部　］　組織目標

課　名	本　　部

No.	総合計画の区分	施策の大綱	創造的な産業と次世代の担い手を育む人とまち
		施　　策	地場産業の振興と観光との連携
	項　　目	地場産品の更なる消費拡大に取り組みます。	
	内　　容	物産展等の継続開催や出展により、対馬の認知度向上と特産品ＰＲ・販路開拓を図ります。特に今年度は４年に１回開催の食博覧会・大阪への出展や市制１０周年記念イベントとして開催します。 福岡事務所や対馬観光物産協会と連携し、認知度向上による「つしまヂカラ」戦略プランに基づき、特産品のＰＲと販路開拓及び対馬産品取り扱い店舗拡大に取り組みます。 本年１１月オープン予定の「よりあい処つしま」を活用し、定期的な対馬フェアを開催することで、ＰＲ・集客はもちろん、対馬特産品取扱店舗の開拓を行います。 「海山交流」を行っている地域と、物産・人・情報交流事業等に取り組みます。	
	指　　標 （数値目標）	【今年度】 ・九州管内での物産展等の開催　５回以上 ・各種物産展の企画・出展・斡旋　１０回以上 ・対馬特産品取扱店舗開拓　２０店舗 ・海山交流イベント　４回 【達成年度】 ・同　上	
	達成時期	平成２６年　３月	

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
物産展	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔
特産品ＰＲ	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔
対馬産品取扱店舗開拓	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔
海山交流事業	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔

全体	№9
個別	002-06

平成２５年度［　観光物産推進本部　］　組織目標

課　名	本　　部

No.	総合計画の区分	施策の大綱	創造的な産業と次世代の担い手を育む人とまち
		施　　策	商業集積と高度化・魅力向上
	項　　目	商業地域を中心としたにぎわいづくりをします。	
	内　　容	市内商店街は、人口減少や大型店の出店などにより依然としてにぎわいが低迷しています。しかし昨年は約１５万人の韓国人観光客が来島しました。これら急増している韓国人観光客及び今年度より実施をします「しまとく通貨」など交流人口の拡大によるプラス環境を充分に活かします。そのため、各種普及啓発（研修会等の開催等）及び商工業支援事業を実施するとともに、資金面における下支えも行い、商業地域を中心としたにぎわいづくりを行います。	
	指　　標（数値目標）	【今年度】 商店街活性化の研修会等の開催　年３回 商工業活性化の協議　年３回 対馬市商店街にぎわい創出支援事業補助金 対馬市農商工連携支援事業補助金 対馬市小規模企業融資補助金 【達成年度】 ・同　上	
	達成時期	平成２６年　３月	

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
商店街活性化の研修会等の開催	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔
商店街にぎわい創出支援事業補助金	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔
対馬市農商工連携支援事業補助金	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔
小規模企業融資補助金	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔

全体	№10
個別	002-07

平成２５年度［観光物産推進本部］　組織目標

課　名	上対馬観光物産事務所

No.	総合計画の区分	施策の大綱	固有の歴史文化を発信し、交流の活発な人とまち
		施策	独自の地域資源を活かした交流人口の拡大
	項目	外国人観光客に優しい環境を整えます。	
	内容	①カードの使える店舗を増やす。 対馬では両替ができないためカード端末機の設置店舗を増やし、買い物のしやすい環境を整える。 ②韓国語講座の実施 韓国への理解と気軽に観光客に声を掛けられる住民が増えることにより、安心して観光できる環境をつくる。 ③おもてなし座談会の実施 韓国人観光客を迎える環境整備のため、座談会において情報を共有し、問題解決を図る。	
	指標（数値目標）	【今年度】 ①カード端末機新規設置店舗数　５店舗 ②韓国語講座受講者数　３０人 ③座談会の開催回数　２回 【達成年度】 ・同　上	
	達成時期	平成２６年　３月	

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
カード端末機設置		調査・研究		募集			設置					
韓国語講座		1回目					2回目					
おもてなし座談会の取り組み				会議及びその取り組み								

全体	No.11
個別	002-08

平成２５年度［観光物産推進本部］　組織目標

課　名	福　岡　事　務　所

No.	総合計画の区分	施策の大綱	創造的な産業と次世代の担い手を育むまち
		施　　策	地場産業の振興と観光との連携
	項　　目	福岡における対馬市の認知度向上及び物産の消費拡大を図ります。	
	内　　容	一人でも多くの対馬ファンを獲得し、認知度アップに繋げるため、ホテル、飲食店等を回り対馬サポートショップを獲得していきます。 また、福岡の女性に対してコアなファンを獲得するため、チーム２４０（つしま）ドンナ隊を結成し、旅行客の増大を図り対馬の地域経済の活力向上を図ります。	
	指　　標 （数値目標）	【今年度】 ・つしまヂカラサポートショップ　６０店舗 ・チーム２４０（つしま）ドンナ隊６名認定（レディ隊事業展開の検討） ・ブログ更新とアクセス数（月間平均）のアップ 【達成年度】 ・サポートショップ 平成23年度　20店舗 平成24年度　37店舗 平成25年度　60店舗 ・ドンナ隊 平成25年度　6名 平成26年度　50名 平成27年度　100名 平成28年度　150名 平成29年度　240名 ・ブログアクセス数 平成25年度　9,000 平成26年度　10,000 平成27年度　12,000	
	達成時期	サポートショップ　平成26年3月　　レディ隊　平成30年3月	

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
サポートショップ候補選定		↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	
店舗協力依頼及びスタンプラリー準備			↔	↔	↔	↔	↔					
スタンプラリー及び評価・反省								↔	↔	↔		○
ツシマ 240ドンナ隊選定・認定・検討会議		↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	
			選定・認定		検討会議を5回開催							
評価・反省								○				○
ブログ更新・アクセス数アップ		↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	